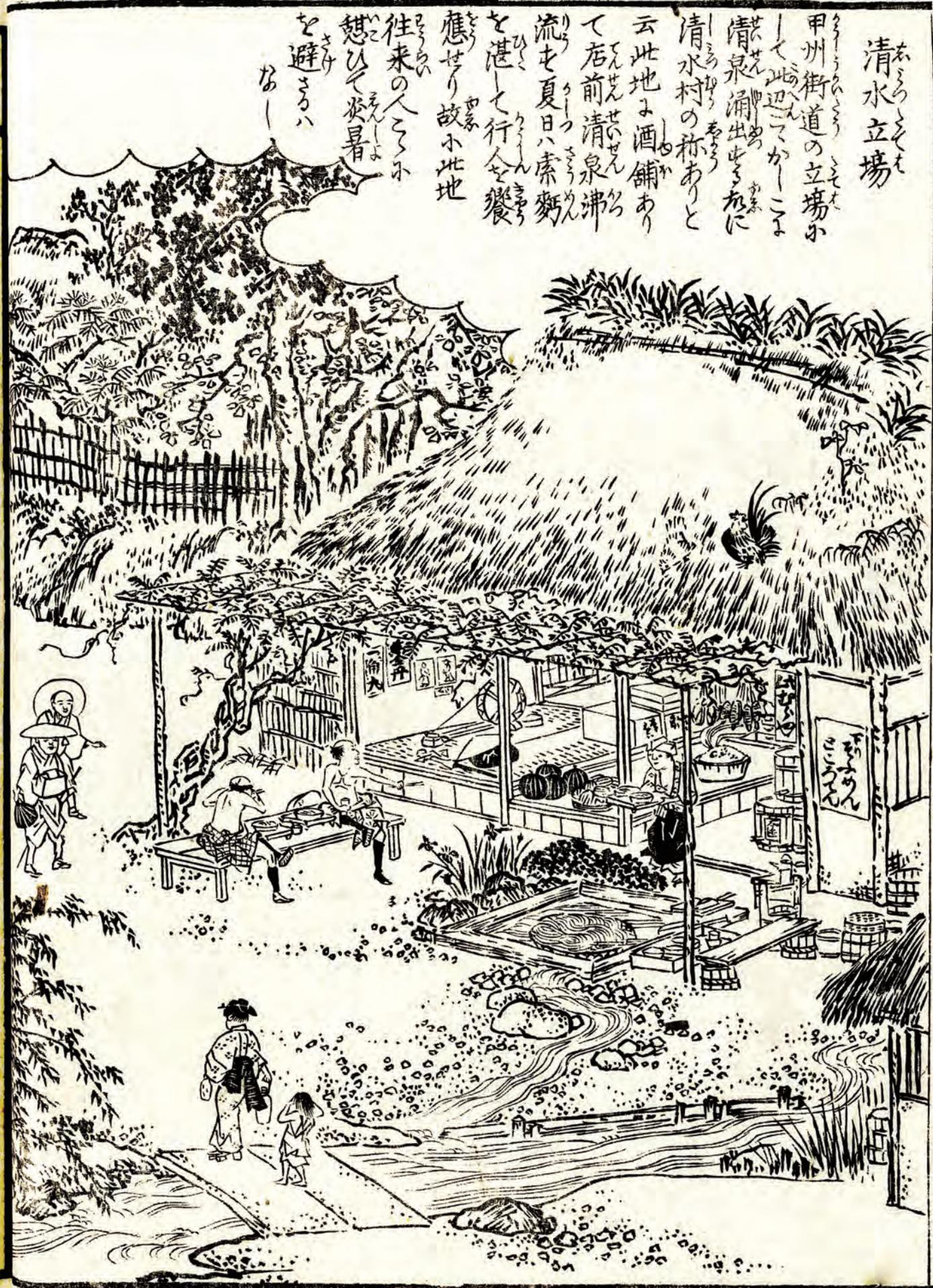


れき し しみず ちゃ や
 くにたち歴史めぐりえ 「清水の茶屋」

清水立場

甲州街道の立場
 清水の湧出する所に
 清水村の称ありと
 云此地は酒舗あり
 て店前清泉沸
 流を夏は涼
 を湛して行を饗
 應せり故此地
 往来の人々小
 憩ひて炎暑
 を避さるハ



解説

この絵は、江戸時代の地誌『江戸名所図会』に描かれたものです。谷保天満宮の近くにあった「清水の茶屋（立場）」は甲州街道を旅する人々が休憩した茶屋です。

絵には、夏の暑い日に、そうめんを清水で冷やして、旅人をもてなす様子が描かれています。また、食べ物だけではなく、旅に必要な、わらじや薬も販売していたことが絵からわかります。

※立場は、宿場と宿場の間の休憩地点のこと

